

しゃくなげ



DENSOKU
No. 485号

発行日 2020年9月15日
発行 株式会社でんそく

繁忙期とコロナ禍

代表取締役社長 櫻井 賤男

今年の夏は梅雨明けが遅れましたが、8月に入って猛暑日が続く、特に盆明け2週間程雨無しで、亜熱帯を思わせる気候でした。さらに今年度は新型コロナウイルス感染で、世の中の大きな行事が殆ど中止となり、社員の皆様にとって物足りない夏ではなかったかと推察します。

4月1日より電力会社様では電力システム改革、発送電分離で分社化を正式にスタートされました。しかしながら3月からコロナ禍による客先担当者様不在が重なって客先様からの情報が得られないのが実情です。結果として今年の受注状況は昨年に比べて大変厳しい数字となっています。これを打破するには、今一度客先様は何を望んでおられるのか確認する必要があります。ある電力会社のトップの方が「今後、少子高齢化が進んでゆく中で、ドローン、AIを使って仕事の効率化を計ってください。」と言われています。下期目前にしてこれからの人材育成、商品開発はどうあるべきか、Dxがらみの提案ができるよう進めてゆきます。

先月(8月)に社員の皆様全員に「社史 でんそくの軌跡(50周年記念誌)」をお渡ししました。これを読んででんそくの歴史を学ぶ事が出来たと思います。50年の歴史の中で、いくつもの大きな壁がありました。皆様の協力を得てなんとか突破させていただいたことに対し、感謝申し上げます。この50年史からでんそくの歩む道は改めて水力発電事業を通して社会に貢献することだと私なりに理解しました。今回コロナ禍不況をどう乗り切るか創業50年以降の最初の大きな課題だと思います。

ある雑誌の中で、仏教学者 鈴木 大拙さんの記事

があったので紹介します。晩年は鎌倉の松ヶ岡文庫の自宅で過ごされていましたが、自宅は百三十段の長い階段を上ったところにあり、大拙が外出すれば当然百三十段の長い階段を上って帰宅します。あるとき、ある人が「先生九十になって百三十段の階段を上るのは大変でしょう」と問いかけたところ、大拙は「一步一步上がれば何でもないぞ一步一步努力すればいつの間にか高いところに上がっている」と答えました。人生に対する平素からの姿勢で向き合っている人ならではの言葉だと著者は言っていますが、会社も同様だと思います。人材育成が人財として役立つには、それ相当の時間が必要です。一日いちにち社員(上司)の皆様とのコミュニケーションを通して風通しの良い組織を構築したいと思います。

8月安全パトロール(第5回目)で新豊根発電所へ行ってきました。前日は全国一の最高温度(41.1℃)を記録した、船明(ふなぎら)発電所(ダム)の近くです。松木課長以下3名が空調服を着て機敏な行動で仕事をされ一安心しました。熱中症以外にコロナ禍も気を付けて「3密、3トル」をお願いしました。感心したのは、安全憲章唱和はもちろん、安全標語、WBGT表も掲示されていますが、発電所入所と同時に安全帯着用有無をチェックされました(詰所以外は必要)。帰り際に「安全の道しるべ」(昨年6/18作成)を入場のおり読むことを

お願いしました。9月に入っても暑さが続きますので、体調管理(熱中症、コロナ感染対策)をしっかりやって繁忙期を乗り切りましょう。ご安全に!!



(新豊根発電所 安全パトロール)

感謝状受賞

工事部 裏野 貴士



この度、株式会社かんでんエンジニアリング様より黒部川第四発電所スラスト軸受油面異常障害の復旧工事において感謝状を頂きました。

今回の工事は、前回震災時のOHにて取り替えができなかったスラストの冷却管が破損した障害の復旧と、同じく取り替えができなかった上部、下部の油槽の冷却管の取り替えと、発電機の組み立て、試験が主な作業でした。黒部奥山での泊まり込みの作業で着手時では県内でのコロナの感染が始まっており、人見合宿では、宿泊数の人数制限もかかりました。私自身OHなどの経験が少なく、準備の段階から先輩方に助言をいただきながら、現場でも関西電力株式会社の担当者様、株式会社かんでんエンジニアリングの監督者様より、ご指導を頂き

ながら無事工事を完了することができました。

部品のサイズが合わず、工程がうまく進まないところもありましたが、焦る気持ちを抑えて安全を第一に工事を進めることができました。

作業員も若い社員ばかりで心配ではありましたが、休みも少なく4月～6月と長期の中、一生懸命がんばっていました。この経験を今後も生かし頑張りたいと思います。

株式会社かんでんエンジニアリング様とは感謝状授与の後、コミュニケーションを行い、現場での意見交換会が行われました。現場での疑問など、お互いの意見を出し合いました。コロナの影響でなかなか打ち合わせや会議が難しいですが、今後の作業でもお互いのコミュニケーションを大切に、安全を第一にしていきたいです。

水力研修会を受講して

営業部 Y.M



8月12日、17日の2日にわたり、工事本部 林副センター長が講師となり、水力研修会が行われました。

1日目は「水力発電を支える力強い会社へ」と題し、でんそくの現在や強み、将来に向けての課題など分かりやすくまとめていただきました。10年、20年先を見るときには新しい事にチャレンジしなければならないと教えていただきました。また、自分の好きな言葉、人物、感動した事を考える時間もありました。好きな言葉は、自分の座右の銘にもしている「不撓不屈」です。人物、感動した事はすぐに思いつかなかったのでまた考えてみたいと思います。

2日目は「庄川と水力発電」と題し、庄川水系の発電所の歴史について教えていただきました。一番最初にできた水力発電所は大正14年から聞いて驚きました。大正の時代から定期点検、メンテナンス等で更新されている事に感銘を受けました。水力発電はクリーンエネルギーである事や高いエネルギー交換効率である事など特徴も教わりました。

2日間を通して、10年、20年先を見て全社一丸となって高い品質を目指したり、新しい事にチャレンジしたりしなければならないと感じました。今回の研修会で学んだ事を頭に刻み日々の仕事に打ち込みたいと思います。



ちょっと豆知識

暑い時期はつつい、冷たいものに手がでてしまいがちですが、冷たい飲み物や生野菜は内臓を冷やし、疲れやすくなり、夏バテを招いてしまいます。

夏場は、暑さから身を守るため自律神経の働きで体を冷やそうとしているので、冷え性の方は冷たい食べ物やクーラーの影響を特に受けやすいのです。お茶などは温かいものを、野菜もできるだけ火を通したものを食べ、体を冷えから守りましょう。

～編集後記～

9月から高岡市で高岡市消費活性化対策としてキャッシュレス還元事業が始まりました。高岡市のお店で買い物をしてペイペイで支払うと最大20%のペイペイボーナスが付与されます。先日の休日はペイペイの使える飲食店では行列ができるなど還元事業の効果なのではと思ったりしました。私もさっそくペイペイで買い物しましたが、還元額が同時に表示され、お得感満載！今月はペイペイの使えるお店中心に買い物をしようかな～と思っています。「高岡を元気に！」と銘打ったキャンペーン。これで少しでも高岡が元気になってくれればいいな～と思います。他の市でも、独自のキャンペーンを行っているみたいなので、この機会を上手に利用したいものですね。(K.A)

「私の提案」インフォメーション 『優秀改善賞』

4月 オーバーホール用工具箱のドリル類とリーマ類の径の明示、在庫一覧表作成 工事部 T.T

5月 電力量計誤差試験用パルスカウンタの作成 工事部 K.S

営業会議資料を自動作成できるようにした 営業部 K.T

(提案推進委員会)